

政策整理番号 26

評価シート(B)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課
------	-----	-------	-------------	-------	----------

政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興
------	-----------	-----	---------------------

施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援
------	---	-----	--------------------

A - 3 - 1 施策の有効性:規則 § 6 3号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

【政策評価指標達成状況から】概ね有効
 ・指標名:県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数(主催事業参加者数)
 ・達成度:B(指標仮目標を未達成であるが,増加基調にある。)
 【県民満足度(政策)の推移から】課題有
 ・重視度(中央値)は70点と高いものの,満足度(中央値)は,50点で,同60点以上の回答者の割合が34.2%となっており課題がある。
 【社会経済情勢を示すデータの推移から】概ね有効
 ・日常生活の中で,優れた文化芸術を鑑賞したり,自ら文化活動を行ったりすることは,大切だと思うか聞いたところ,「大切だ」とする者の割合が86.2%で,平成8年の前回調査の92.1%からは低下しているが,大切だと考えている国民が大多数である。(「非常に大切だ」31.2%+「ある程度大切だ」55.0%),「大切ではない」とする者の割合が10.5%(「あまり大切ではない」8.5%+「全く大切ではない」2.0%)となっている。(世論調査報告書/平成15年11月調査/内閣府大臣官房政府広報室)

【総括】
 ・政策満足度は低く,指標も達成できなかったが,指標自体は増加基調にあり,施策の有効性が確認されることから,「概ね有効」とした。

施策を構成する事業の事業番号と種別

事業番号	種別	事業名	事業番号	種別	事業名
1		宮城県芸術祭	6		
2			7		
3			8		
4			9		
5			10		

主:宮城県総合計画第 期実施計画に掲載されている「主要事業」 重:重点事業のうち主要事業以外の事業

B - 1 施策実現にむけた県関与の適切性と事業群設定の妥当性:規則 § 6 1号, 4号

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

【国,市町村,民間団体との役割分担】概ね適切
 ・(社)宮城県芸術協会,宮城県,仙台市,仙台市教育委員会,河北新報社,(財)宮城県文化振興財団と共催し,県民の優れた芸術文化活動の発表の場と鑑賞機会を提供するものである。発表は芸術文化団体が実施するもの。
 【施策目的を踏まえた事業か】適切
 ・県民が日ごろ行なっている創作活動や表現活動を促進する上で,総合的な展示会事業であり,施策目的に合致する。
 【事業間で重複や矛盾がないか】適切
 ・重複や矛盾は特になし。
 【社会経済情勢に適応した事業か】概ね適切
 ・ライフスタイルの変化やいわゆる団塊の世代の人材の現役引退等により,県民が行う文化・芸術活動も今後ニーズが増え,多様化することが予想され,文化芸術活動に触れる機会や活動の発表の場を設けることにより,県内の活動が飛躍的に拡大することが期待される。
 【施策重視度と満足度のかい離が大きいか】(事業の必要性)課題有
 ・満足度50点で低いが,重視度は70点と高く,県民の期待の大きさがうかがえる。

【総括】
 ・施策目的や社会経済情勢に沿った事業である。
 ・かい離度が大きいのが,これは文化芸術施策への期待が高まっている現れと考える。予算的な面で制約があるので,関係者の意見をききながら,開催手法をより工夫して実施していく。
 ・県民が取り組んでいる文化・芸術活動の発表の場を提供することは,活動自体を促進し,ひいては本県の文化・芸術のレベルを上げるものであり,本事業における県関与の適切性と設定の妥当性については,適切と認められる。

評価シート(B)

政策整理番号 26

施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援
------	---	-----	--------------------

B - 2 事業群の有効性:規則 § 6 2号

有効	概ね有効	課題有
----	------	-----

<p>【施策満足度から】 課題有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満足度(中央値)は、50点と中位だが、同60点以上の回答が34.2%と低位なため、満足度を高める点で課題有り。 <p>【政策評価指標達成状況から】 概ね適切 「政策評価指標分析カード(4)ア」から抜粋</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数は、平成17年の仮目標値をほぼ達成した。 ・文化芸術に関する各施策は、県民の多様な価値観に対し、短期的には県民満足度調査結果に反映しにくいと思われ、政策評価指標と県民満足度調査の今後の推移を見守る必要がある。 <p>【社会経済情勢を示すデータの推移から】 該当なし</p> <p>【業績指標推移から】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主催事業の開催会場数は増加傾向にあり、概ね適切と判断した。 <p>【成果指標推移から】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業が定着し県民の支持を得た結果、入場者数が増加している状況から、その成果が政策評価指標に現れているものと思われる。費用対効果において高い効率性が認められる。
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね有効と判断するが、価値観の多様化により、県民の文化・芸術活動への取り組み方も高度化・多様化しており、事業の展開についてはそのような状況に対応していく必要がある。

B - 3 事業群の効率性:規則 § 6 3号

効率的	概ね効率的	課題有
-----	-------	-----

<p>【政策評価指標達成度 業績指標・成果指標】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業が定着し県民の支持を得た結果、入場者数が増加している状況から、その成果が政策評価指標に現れているものと思われる。費用対効果において高い効率性が認められる。 <p>【社会経済情勢データ 業績指標・成果指標】 該当なし</p> <p>【事業費に対する業績指標の割合(効率性指標)が適切か】 概ね適切</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算的に制約を受けつつも、入場者数等の増加がみられたことから、概ね効率的といえる。
<p>【総括】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業は効率的に実施されており、入場者数等の増につながった。事業群は施策の目標に対して概ね効率的であると思われる。

B 施策評価(総括):規則 § 6

適切	概ね適切	課題有
----	------	-----

<ul style="list-style-type: none"> ・B-1事業の重複や矛盾は無く、各主体の役割分担も出来ている。 ・B-2満足度は低いが見られる。さらに満足度を高める事業を行う必要がある。 ・B-3成果指標である入場者数等が増加基調にあり、概ね効率的に事業が展開された。 <p>以上B-1~3を総合的に判断し、「概ね適切」と判断した。</p>
--

政策整理番号 26

事業分析カード(業績)

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課
政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興		
施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援		

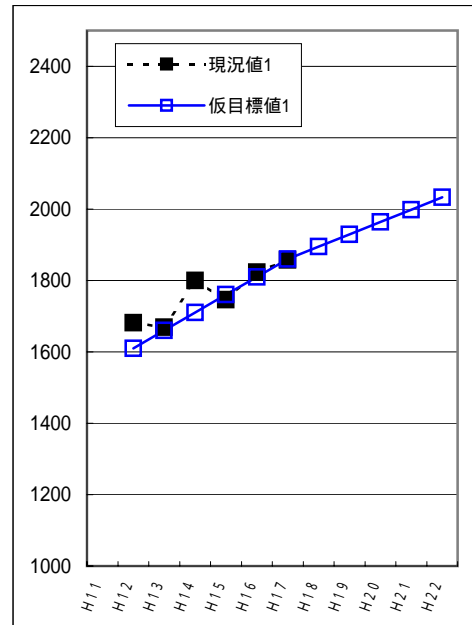
活動(事業) / 活動(事業)によりもたらされた結果								
事業番号	事業名 【担当課室名】	H17 事業費 (千円)	事業の対象 (誰・何を対象として、具体的に)	事業の手段(内容) (何をしたのか、具体的に)	業績指標名 (事業の活動量、「事業の手段」に対応)	H15	H16	H17
						事業費(千円)		
						効率性指標 (3.5E-02は 3.5×10^{-2})		
1	宮城県芸術祭 【生活・文化課】	2,736	県民・アーティスト	県民に文化芸術活動成果の発表の場を提供。	主催事業会場数	21 2,736 7.7E-03	57 2,736 2.1E-02	63 2,736 2.3E-02
2	[]							
3	[]							
4	[]							
5	[]							
6	[]							
7	[]							
8	[]							
9	[]							
10	[]							
	[]							
	[]							
	事業費合計	2,736						

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課
政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興		
施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援		

(1) 政策評価指標の推移

政策評価指標値の推移(グラフ)

政策評価指標名		単位						
県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数 (主催事業参加者数)		千人(人)						
目標値	難易度	H17	H22					
		-	2,033千人 (12,000人)					
評価年	初期値	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
測定年	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	
現況値 (達成度判定値)	1,560	1,681	1,669	1,800	1,746	1,823	1,857 (10)	
仮目標値		1,610	1,660	1,710	1,760	1,810	1,860	
達成度		A	A	A	B	A	B	



難易度: (トレンド型目標 実現が可能), (中間型目標 実現が困難), (チャレンジ型目標 実現がかなり困難)

(2) 指標の選定理由

・県民が多く文化に触れることのできる環境が整備されつつあり、心の豊かさや潤いを実感できる環境の整備を示す指標として選定した。具体的には県民が文化に触れられる機会を増やすために、県立文化施設が連携した事業展開を図り、施設への入場者数の増加を目指す。また、芸術文化事業の充実を図り、質の高い文化の提供と県民の参加機会の拡大を目指す。

(3) 施策満足度の推移

年度	H17	参考: 第2~4回の推移			
施策重視度(中央値、点) A	70	H16	H15	H14	
施策満足度(中央値、点) B	50	65	62	70	
かい離 A-B	20	50	52	51.5	
満足度60点以上の回答者割合(%)	34.2	15	10	18.5	
		38.9	41.7	46.3	

第5回県民満足度調査は調査票の様式を見直して実施しました。第2~4回の調査結果は第5回の調査結果と同列に扱うことができないため、参考記載としています。

(4) 政策評価指標の妥当性分析

ア 達成状況の背景(未達成の場合はその理由等)・今後の見通し

達成度: B
 ・県立文化施設への入場者数と芸術文化事業への参加者数は、平成17年の仮目標値をほぼ達成した。
 ・文化芸術に関する各施策は、県民の多様な価値観に対し、短期的には県民満足度調査結果に反映しにくいと思われ、政策評価指標と県民満足度調査の今後の推移を見守る必要がある。

(5) 政策評価指標の妥当性の検証(総括)

存続 要検討

【施策の有効性を評価する上で適切な指標か】
 ・各個人の多様な価値観や満足度が反映されるような指標を検討する必要もあると思われるが、施策の性格上、短期的には県民満足度調査に反映しにくい面や、施策を支える事業の工夫次第で、県民満足度調査に今後どのように反映されるのか、推移をみる必要があると思われるので、しばらくは、事業内容の工夫を図るなど、事業推進に力を注ぎ、状況を見極めたい。

施策・事業展開シート(C)

政策整理番号 26

対象年度	H17	作成部課室	環境生活部生活・文化課	関係部課室	教育庁生涯学習課
政策番号	3 - 8 - 1	政策名	地域の誇りとなる文化・芸術の保存や振興		
施策番号	3	施策名	県民が行う創作活動や表現活動への支援		

C - 1 評価結果から抽出される課題と対応策

【政策評価】施策群設定の妥当性, 施策群の有効性
 ・宮城県文化芸術振興ビジョンが平成17年7月に策定され, 3つの基本方針の下に施策を展開していくこととなった。
 子どものころから一人一人の創造性を育む環境づくり
 文化芸術による地域づくり
 文化芸術で世界とつながる環境づくり
 ・本政策は上記ビジョンの基本方針を踏まえて, 県民参加の文化祭等による地域活性化という形で施策を展開していくことから, 政策目的たる文化芸術振興条例の基本理念実現に向けて有効な手段と判断される。
 【施策評価】事業群設定の妥当性, 事業群の有効性, 効率性
 ・県民満足度調査結果では, 満足度が50点で, 重視度とのかい離が20点と大きい。県民の文化芸術振興事業に対する期待が高度化しており, 県として芸術文化への一層の積極的な取組が必要である。

C - 2 施策・事業の方向性

施策の次年度(H19年度)の方向性とその説明

方向性	拡充	維持	縮小
-----	----	----	----

【方向性の理由】
 ・住民との協働による行政運営を目指す県や市町村にとって, 地域社会の活性化が課題となっている。県民参加の文化祭等による地域活性化という形で施策を展開して, 地域社会の活力を再生する必要がある。
 【次年度の方向性】
 ・次年度は, 地域文化及び県民の文化芸術活動の持つ力をそれぞれの地域の活性化につなげるために, 引き続き芸術協会など県内文化団体の文化活動への支援を継続していく。

主要事業・重点事業の次年度(H19年度)の方向性とその説明

事業番号	種別	事業名	H17決算見込額(千円)	方向性	方向性に関する説明
1	主	宮城県芸術祭	2,736	維持	地域文化や県民の文化芸術活動の持つパワーを活用して, 地域活性化に繋げるため, より多くの機関団体との関係を図っていく。
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
		合計	2,736		